

事業効果

久米田池 オアシス整備事業

事業名	大項目 (事業共通)	農空間のもつ 多面的機能	事業による効果		受益者
			効果の指標等	具体的な効果の内容(地域の状況等)	
オアシス整備事業 (ため池整備)	費用便益分析				
	安全・安心	国土・環境保全	費用便益比 (B / C)	老朽化したため池堤体が決壊した場合に予想される被害を改修によって未然に防止する効果 ・ 想定被害額 B = 14,362,045千円 ・ 対象事業費 C = 1,416,119千円 (防災事業に要する費用) ・ 投資効率 (費用便益比) B/C = 10.14	ため池下流の住民
	定性的評価等				
	安全・安心	食料生産	ため池の受益面積	農業用水の確保により生産基盤が保全され農産物が安定供給される効果 (久米田池の受益面積80.5ha)	農家
				老朽化した既存の水利施設を更新することにより、旧施設の機能が継続して発現する効果	
		国土・環境保全	ため池の整備により農業用水が確保され、水田、畑の維持保全につながることにより、地下水のかん養や、土砂流出防止といった、国土・環境を保全する効果 かんがいのため水田に導水された農業用水が地下に浸透し、さらに河川に還元され流況安定に寄与する効果	府民	
	防災	貯水量	火災発生時の防火用水や、震災時の生活用水として活用 最大貯水量 157万 t	周辺住民	
			降雨時の雨水の一時貯留施設としての効果		
	活力	健康・レクリエーション	利用状況	池周辺を、和泉・葛城山系眺望、景観形成、夕焼け眺望、桜堤眺望、歴史保全ゾーンとして位置づけ、それらに相応しい施設を整備し、地域の憩いの場、やすらぎの場、レクリエーションの場として活用	利用者
		交流	活動状況	ため池環境コミュニティとして、久米田池環境づくり推進協議会が平成3年11月に設立 (地元土地改良区、久米田寺、住民代表等38名で構成され、久米田池のオアシス整備の構想づくり、維持管理への参加、環境づくりに対する啓発を目的)	利用者及び周辺住民
			利用状況	都市住民による、親水護岸等のアメニティ施設の利用	利用者
	快適性 (生活環境)	生活		周辺道路の整備等により一般交通の経費が節減されるなど、地域の生活環境を向上させる効果	周辺住民
		景観		オアシス整備事業により、周辺の地域資源と調和した美しい水辺景観を創造 (久米田池地区は風致地区として指定)	府民
環境 (自然環境)	生きもの生息		ため池は淡水魚や野鳥や水生生物等の生息空間 (ピオトープ) となっており、ため池が適切に維持管理されることによる、生態系の保全効果 (久米田池に流入する栄川水路には多種の水棲動物が生息し、冬季には水鳥が飛来するなど、豊かな自然資源として貴重な存在となっている)	府民	
その他	文化・伝統	行事数	久米田池及びその周辺での年中行事 1月：大とんど祭、久米田池の泥流し 2月：開山行基忌 (久米田寺) 4月：久米田池桜祭 8月：灯籠流し 10月：行基祭 (だんじり) 毎月20日21日：久米田寺月参り (久米田池は昭和16年に大阪府の「史跡・名勝」に指定)	府民	
		リサイクル	花卉栽培の養土として浚渫土を利用	花卉農家	
	教育・福祉	活動状況	毎年10月久米田池回りの清掃活動 (ボーイスカウト等による)	周辺住民	